



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

96'5.30 No. 4405

基地統廃合と 体制強化による 貨物列車交渉

貨物会社は92年度の支社経営計画で貨物ルートの「京葉線移行の検討」を打ち出し、昨年より「京葉線対策室」を発足させ、沿線自治体やJR東日本との具体的協議に入った。そして今年二月に「新小岩地区の基盤整備関連工事計画について」を提案し、新小岩現業事務所の新小岩操構内の東方への移転、蘇我派出の改築など関連工事を明らかにした。

この工事が来年三月使用開始となっているにもかかわらず、その後の具体策がいつこうに明らかにならない中で、貨物協議会は役員会を開催し、支社への解明申し入れを検討し動労千葉申第二十七号を五月一日発出した。そして五月十六日関東支社と団交が行なわれた。

この中で、「九七年三月」段階では「新小岩の基盤整備」も

「貨物ルートの京葉線移行」も全面的にはできないこと、また三月には新小岩機関区の機能の一部を蘇我に移行する、佐倉機関区と新小岩の貨車検修は当面現行のまま、ということが明らかとなった。

「『新小岩の基盤整備』と『貨物ルートの京葉線移行』は全くの別件であり、たまたま時期が一致したということとで混同し、問題を複雑にしている」との認識により、『京葉線移行』の推移にかかわらず、蘇我の工事完成後には、新小岩機関区の機能の一部使用開始があることが明らかにになった。

貨物会社が「フレイト21」―貨物七千人体制による労働強化と早期退職制度を強化しているなかで、貨物支部を先頭にこの基地統廃合攻撃と闘う体制を強化していく。

申27号. 申し入れと回答

申し入れ事項	回答及び見解
<p>新小岩地区基盤整備関連工事計画について、下記のとおり申し入れるので誠意をもって回答されたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p>	<p>1.</p> <p>① 新小岩地区の基盤整備終了後の要員体制については、京葉線乗り入れ時期との関連もあり現時点では明確になっていない。</p> <p>② 現行の新小岩機関区の乗務線区を担当するとして考えている。</p> <p>③ 移転計画については、H8.2に説明した「新小岩地区の基盤整備関連工事計画」について、より推移している。</p> <p>④ 京葉線の乗り入れについては、時期が不明確であり現時点では訓練計画について明確にできない。</p> <p>⑤ 将来的には、受委託は解消していく考えである。</p> <p>2.</p> <p>① 業務用自動車の駐車スペースは確保するが、ピット、乾燥砂置場の設置計画はない。なお、点検台については、新小岩操構内残留線に設置の計画で検討している。</p> <p>② 機関車の仕業検査は、他区で実施するので、DL用給油設備の設置計画はない。</p>
<p>1. 新小岩、蘇我、村田地区について。</p> <p>① 各区の職名別、担務別人員の内訳について明らかにされたい。</p> <p>② 新小岩、蘇我の車種別担当乗務線区について明らかにされたい。</p> <p>③ 具体的移転計画について進捗度と今後の予定について明らかにされたい。</p> <p>④ 京葉線の線見訓練計画について、時期・要員を明らかにされたい。</p> <p>⑤ 工事用臨時列車(レール輸送を含む)の受託についての考えを明らかにされたい。</p>	
<p>2. 新小岩機関区の設備について、次の点を明らかにされたい。</p> <p>① ピット、機関車点検台、乾燥砂置場、業務用自動車庫の有無。</p> <p>② DL用給油設備の有無。</p>	